

目 次

第1章 本調査の目的と構成	1
第1節 調査の背景・目的	1
第2節 本調査報告書の構成	3
第2章 本調査の進め方	4
第1節 中間支援組織とは	4
(1) 各種調査に見る中間支援組織の定義	4
(2) 本調査における中間支援組織の枠組みの設定（仮説）	9
第2節 検証すべき論点	13
(1) 担うべき機能	13
(2) 組織体制・意思決定	14
(3) 組織の継続運営	14
第3節 調査の手法	15
第4節 本調査の検証事項について	16
(1) 現場検証（仮想中間支援組織の活動を通じた検証）	16
(2) 事例検証	17
(3) 組織体制・運営に係る検証事項	18
第3章 現場検証 ～中海・宍道湖・大山圏域におけるモデル調査より～	23
第1節 仮想中間支援組織の構成と活動経過	23
(1) 仮想中間支援組織の構成	23
(2) 仮想中間支援組織の設立と活動の経過	24
第2節 仮想中間支援組織が実施するパイロット事業の内容とその成果	25
(1) ポータルサイト事業	26
(2) 圏域内情報効率化事業	49
(3) 圏域外情報共有事業	58
(4) 講演会・交流会事業	66
(5) インターネット相談事業	74
第3節 中海・宍道湖・大山圏域におけるNPO法人・広域連携を目的とした協議会等の現状	81
(1) NPO法人の現状	81
(2) 広域連携を目的とした協議会等の現状	83

第4章 事例検証 ～中間支援に係る先進的団体へのヒアリング等より～	85
第1節 地域の代表としての活動や各種主体の連携強化・支援を行う中間支援組織	85
(1) ヒアリング対象団体	85
(2) 中間支援組織の担うべき機能に関する事項	86
(3) 中間支援組織の構築・組織運営に関する事項	87
(4) その他	89
第2節 広域連携による観光振興に関する中間支援組織	90
第5章 民間のイニシアティブを活かした地域振興に向けた中間支援組織のあり方	91
第1節 中間支援組織の意義	91
第2節 中間支援組織に求められる要件	92
第3節 中間支援組織の担うべき機能	94
(1) 情報収集発信機能	95
(2) 連携強化機能	96
(3) 個別支援機能	97
(4) 提案機能	99
(5) まとめ	100
第4節 中間支援組織の体制構築・運営方法	102
(1) 中間支援組織の組織形態	102
(2) 理事会と事務局の構築・運営方法（人員構成、役割分担等）	102
(3) 中間支援組織設立までのプロセス	106
(4) 中間支援組織のあり方	107
第6章 中海・宍道湖・大山圏域における中間支援組織の展望	109
第1節 中間的な支援を担う組織の動向	109
(1) 中間的な支援を担う各種組織	109
(2) 各NPOによる中間的な支援活動及び連携	110
(3) 現在検討中の新たな動向	110
第2節 今後の展望	111
(1) 中間支援組織の設立・運営に関わる今後の展望	111
(2) パイロット事業継続に関わる今後の展望	114

■ 参考資料